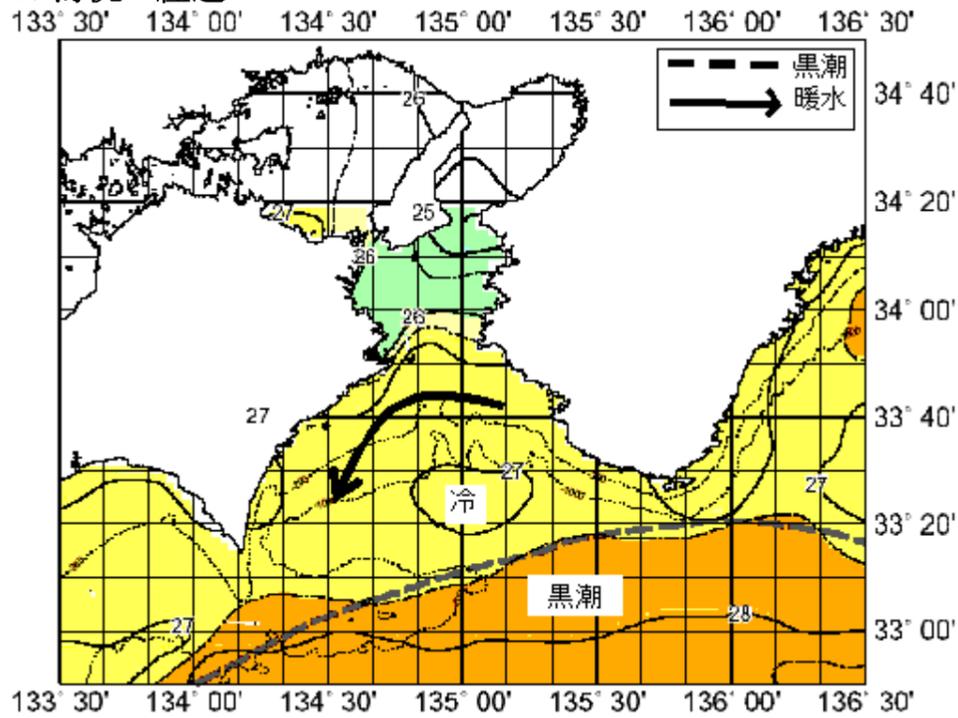


1. 海況の経過

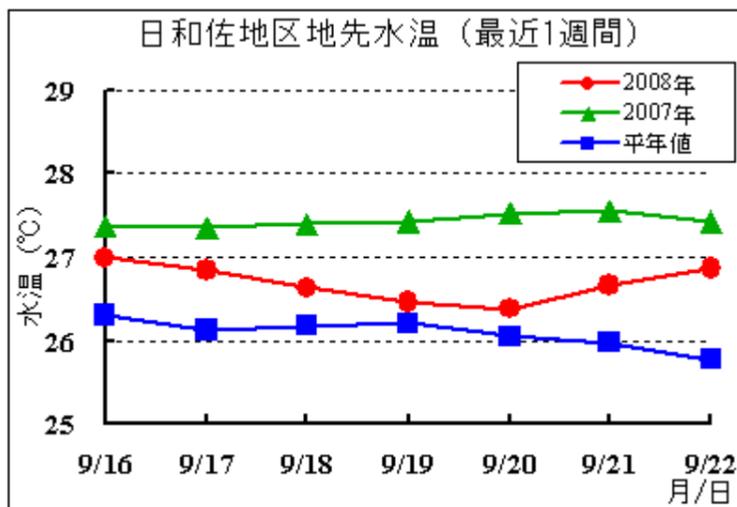
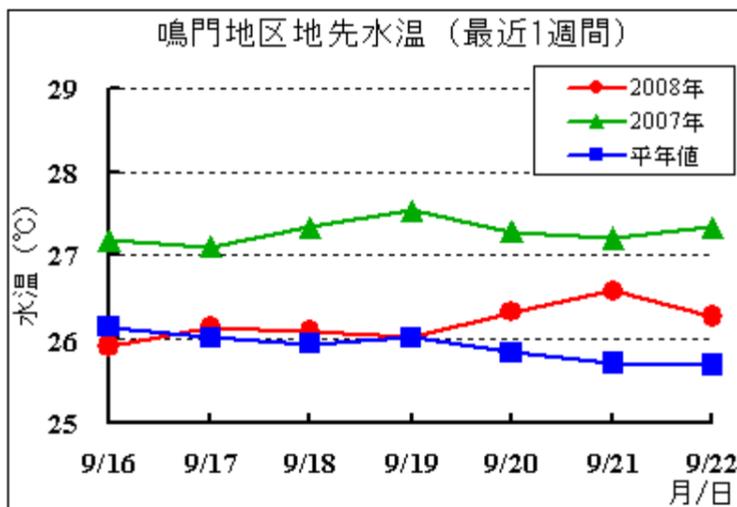


海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.09.22)を示した。黒潮は室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は27～28℃台である。表面水温は播磨灘が26～27℃台、紀伊水道内部が25～26℃台、外域が26～27℃台である。海部沿岸では、内海系水が波及してきている。紀伊水道外域中央部は、表面水温が26℃台で、周辺より水温の低い水塊がある。先週に引き続き、和歌山県側から、反時計回りに黒潮系水が波及している。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の25.9～26.6℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の26.4～27.0℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の26.8～27.6℃で推移した。



2. 漁況の経過

徳島県沿岸は、台風の波浪による影響を強く受け、出漁が少なかった

小型定置網:海部沿岸で、カマス類が0.2トン(1日1隻あたり37kg)、小主体にマアジが2.5トン(同196kg)、小主体にマルアジが0.2トン(同117kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、カマスサワラが0.9トン(同42kg)、キハダが0.2トン(同34kg)、タチウオが0.4トン(同39kg)、紀伊水道で、中主体にサワラが0.8トン(同11kg)、タチウオが0.7トン(同9kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが11.6トン(同175kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 09月15日～09月21日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	カマス類	6	221	37	
		マアジ	13	2,547	196	小主体
		マルアジ	2	233	117	小主体
釣り	海部沿岸	カマスサワラ	21	876	42	
		キハダ	6	203	34	小主体
		タチウオ	9	353	39	
	紀伊水道	サワラ	67	762	11	中主体
		タチウオ	82	746	9	
パッチ網		シラス	66	11,550	175	

週間予報:

黒潮は、室戸岬でやや離岸からかなり離岸、潮岬で接岸からやや離岸で推移する見込み。
地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の26℃台、日和佐地先で「平年並み」の26℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のひき縄で、キハダが0.2トン(1日1隻あたり3kg)、釣りでタチウオが0.5トン(同7kg)、イサキが0.9トン(同12kg)、パッチ網でシラスが1.4トン(同42kg)水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上